
さあ、森からはじまる未来へ
大阪・関西万博 「住友館」 アテンダントユニフォーム情報
様々な分野のクリエイターとの共創コラボレーションにも注目！

住友グループは、大阪・関西万博への「住友館」出展にあたり、これまで培ってきた英知や技術、人材を集結させ、住友グループの総合力で社会課題に挑みます。人々の心を動かし、時代に変化を与え、未来への希望を創出できるような展示や、夢のあるエンターテインメントを通じて、みなが集い語れる場にしていきます。

この度、国内外から住友館に訪れる多くの方々に、パビリオンの案内や各種接遇等を行うアテンダントユニフォームについてご紹介します。

住友館のアテンダントユニフォームのデザインは、「独自性のあるフォルム作りと実用性」をコンセプトに古今東西のアート、建築、彫刻やプロダクトにインスピレーションを得た、自由な発想とフォルムデザインが持ち味のブランド「YOHEI OHNO」(ヨウヘイ オオノ) デザイナーの大野陽平氏との共創コラボレーションによって実現されました。



※今回ご紹介しました「アテンダントユニフォーム」は、25年1月に予定している「住友館」外観公開にあわせ、ユニフォーム全体の公開も予定しています。

< 自然環境や未来社会への想いを込めた住友グループの技術を採用 >

住友グループには人々の暮らしを豊かにしたい、未来を豊かにしたいという情熱を持って生み出された、数えきれない技術やサービスがあります。住友館のアテンダントユニフォームには、住友商事グループ企業が全国の小売店などで独自に回収されたペットボトルからエコ・リサイクル工程で再生された最高品質の特殊繊維用ペレット「bottlium®（ボトリウム）」と、住友化学が開発した吸熱と放熱の特性を併せ持ち人々の暮らしの快適性向上や省エネルギー化への寄与が期待できる温度調節樹脂「コンフォーマ®」を用いた繊維を採用しています。



bottlium®（ボトリウム） | <https://bottlium.tomra.co.jp/>

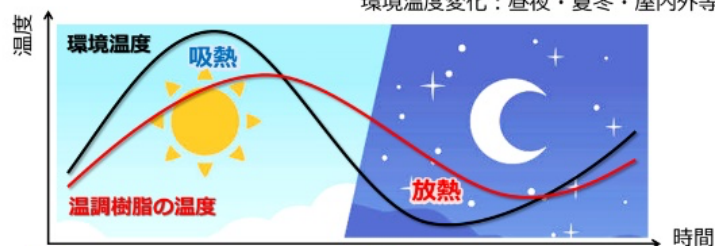


コンフォーマ® | https://www.sumitomo-chem.co.jp/func_polymer/product/heatorage/

温調樹脂の効果イメージ

- 環境温度変化に対して温度上昇／低下を抑制

環境温度変化：昼夜・夏冬・屋内外等



昼間

環境からの入熱を温調樹脂が内部吸熱
→ 温調樹脂自体は温度が上がりにくい

夜間

温調樹脂内部の構造変化により環境へ放熱
→ 温調樹脂自体は温度が下がりにくい

<ユニフォームとしての機能性も融合させたデザインの細部にも注目>

大野氏にとって初めてのユニフォームデザインとなる住友館アテンダントユニフォームでは、YOHEI OHNOらしい特徴的なスタイルや、スタッフの運営面における機能性を融合させたデザインとなっています。また、着用する人の身体的な特徴やパーソナリティを活かすべく、「ジャケットやパンツ・カットソーを用いたスーツスタイル」「帽子やシューズ」などを共通デザインとしながら、2種類のユニフォームを制作しています。

■「森・自然・いのち」をインスピレーションとした特徴的なデザインジャケット

森や自然、いのちをテーマにした住友館からインスピレーションを受けて、運営面における機能性も保ちながらも分量のあるプリーツを採用して、他にはない特徴的なシルエットを持ったデザインにしています。



■YOHEI OHNOらしさとパビリオン内での機能面を両立させたフレアシルエットのパンツ

YOHEI OHNOの定番アイテムのフレアパンツをベースに、ジャケットとのバランスを考慮しながら、動きやすさや霧が漂う空間における快適性を意識した丈感やサイズなどの細部へのこだわりも持っています。



■住友の技術を生かした利便性と制服らしいフォーマルさを兼ね備えたインナー

長期的な運営における機動性などを意識した住友化学の「コンフォーマ®」を用いたサイクリングトップをベースにしたスポーティーなインナーは、首元に「襟風の切り替え」を配することで、接客スタッフとしてのフォーマル感も兼ね備えたデザインに。また、ウエスト後部には収納力のあるポケットで機能性を果たせながら、独自のフォルムを形づくるデザインとしても機能させています。



■YOHEI OHNO らしさも特徴づけるアシンメトリーなデザインと立体感ある造作が加わったハット

1955年創業以来、帽子をつくり続け、日本国内外で顧客をもつ Haute Mode Hirata。そのブランドの一つである saki et show と YOHEI OHNO で共創。ジャケット、パンツと同じ bottlium® (ボトリウム)を用いて、YOHEI OHNO らしい立体感のある造作を加え、一目で住友館のユニフォームと印象づけるデザインとなっています。



■デザイン面と機能面を融合させながら日本のメーカーと共創したオリジナルなシューズ

1956年に創業し靴をつくり続けているシューメーカーAPOLLO co.,ltdとYOHEI OHNOのシューズを手掛けるSellenatelaデザイナー榎本郁栄氏との共創。ジャケットやパンツと統一性あるシルエットやコントラストになるカラーリングと、履き口が柔らかいエラスティック仕様で機能面も融合させたシューズです。



■大野陽平（オオノヨウヘイ）氏

「YOHEI OHNO」デザイナー。文化服装学院卒業後、ノッティンガム・トレント大学の奨学金を得て渡英。帰国後の2014年に自身のブランド「YOHEI OHNO」を立ち上げる。「独自性のあるフォルム作りと実用性」をコンセプトに、古今東西のアート、建築、彫刻やプロダクトをインスピレーションとし、伝統にとらわれない自由な素材使いやフォルムアプローチを通じて、未来に向けた新しい人間像や生活観を探求している。

公式サイト：<http://yoheiohno.com/>

インスタグラム：[@yohei_ohno](https://www.instagram.com/yohei_ohno)

YOHEI OHNO

住友館の共創コラボレーションとは？

住友館では国内外で活躍する様々なクリエイター/アーティストや企業と共に、ユニフォームや展示コンテンツやオフィシャルグッズなどの開発を進めています。住友グループのみならず多様なメンバーと共に、人々の心を動かし、時代に変化を与え、未来への希望を創出できるような展示や、夢のあるエンターテインメントをつくりあげていきます。



【素材提供に関して】

素材は下記 URL よりダウンロードできます。

<https://bit.ly/3ZAI FE2>



※画像使用の際は © Sumitomo EXPO2025 Promotion Committee、©YOHEI OHNO の表記をお願いします。